

教材教具名	はらぺこあおむし	教科（国語）	
-------	----------	--------	--

教材教具写真



【あおむし人形とバナナ模型】



【蝶】

教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- 1 ねらい 絵本に基づいた活動に取り組む事を通して、  
名称を意識したり自分なりの表現をしたりすることができる。  
物語の内容により親しむことができる。
- 2 発達段階など 本校発達段階別指導内容表 II期：模倣・指さしを獲得する時期  
～III期：話し言葉を獲得する時期（一語文から二語文へ）
- 3 使い方  
（大型絵本『はらぺこあおむし』の読み聞かせをした後に行う。）  
①あおむし人形を腕に装着し、口等を動かしながら登場させる。  
②あおむしはお腹が空いていることを伝え、児童に順番に果物模型を人形の口に入れさせる。  
\* 果物を複数種類用意し、教師が名前を言った果物を選んで入れさせる。  
③児童全員が果物を食べさせ終わったら、人形を不織布で包み『さなぎ』にする。  
④『さなぎ』になって寝ているあおむし人形に起きるように呼びかける。  
\* 蝶になることを期待して楽しみながら発声や表現を促す。  
⑤効果音を流すと同時に人形を隠し、蝶を登場させる。BGMに合わせて蝶が舞う様子を見せる。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）

人形の登場にどの児童も注目し、興味や親しみをもっている様子が見られた。“果物模型を食べさせる”ということを手早く理解し、人形の口に入ろうとすることができていた。（児童によっては、指示された果物を選んで入れることができた。）果物が無くなるのを不思議がって、あおむしの口の中を覗きこむ児童も多くいた。

蝶は羽根にセロファンが使われていて光を通すこともあり、手を伸ばしたり目で追ったりして興味をもっている様子が見られた。

模型や人形を用いることにより、興味関心をもっていつもより意欲的に活動する様子が見られた。

『さなぎ』に呼びかける場面は少し表現できた児童もいたが、難しかった。